

数学の文章題を読む① 条件の整理 〈数強塾コラボ〉

名前：

点数： / 6問

日付：

見つける → 指さす → 言いかえる → つなぐ → 書く

きょうのルール 数学の文章題が解けない原因の多くは、計算ではなく**読み取り**。第一の技は「**条件（分かっていること）に線を引き、箇条書きに直す**」。国語の「指さす」が、数学ではここで働く。

- ① りんごが5個ある。みかんは、りんごより3個多い。

分かっていること（条件）を、箇条書きで二つ書きましょう。

- ② 兄は分速80mで歩く。弟はその半分の速さで歩く。

「その」が指す内容を答えましょう。

- ③ ノートは1冊120円、えんぴつは1本60円である。ノートを2冊と、えんぴつを3本買った。

条件を箇条書きで四つ書きましょう。

- ④ 水そうに水が8L入っている。毎分2Lずつ水をぬく。

「毎分2Lずつ」の意味を選びましょう。 ア 1分ごとに2Lぬく イ 合計で2Lぬく

- ⑤ 長さ12mのリボンを、3人で同じ長さに分ける。

この問題の条件を二つ書きましょう。

- ⑥ 「テープを何本かに切ったら、1本が4cmになり、2cm余った。」

見落とししやすい条件を一つ指摘しましょう。

① ・りんごは5個 ・みかんはりんごより3個多い

② (兄の) 分速80m (という速さ)

ポイント 数学の文章にも指示語がある。指さしてから式にする。

③ ・ノート1冊120円 ・えんぴつ1本60円 ・ノート2冊 ・えんぴつ3本

④ ア

ポイント 「ずつ」は1回分・1単位あたりの量。

⑤ ・リボンの長さは12m ・3人で同じ長さに分ける

⑥ 「2cm余った」という条件。

ポイント 余り・残り・ただし書きは、見落としの定番。

おうちの方・先生へ (丸つけの窓)

数式は使いません。「条件をもれなく箇条書きにできるか」だけを見る、国語×数学のドリルです。数強塾グループならではの一枚です。

まちがえた問題は、「きょうのルール」にもどってもう一度。自分の答えが合っているか不安なときは、答案の写真を日本国語塾TOPまでお送りください。どこが良くて、どこで失点するのかを具体的にお伝えします。(無料相談：nihonkokugojuku.com ※URLは公開時に確定)